

香川  
KAGAWA



## 世界一狭い海峡 船で体感

「世界一狭い海峡」としてギネス世界記録に認定された香川県・小豆島の「土洩海峡」を行き来する観光船が「狭さを体感できる」と人気を集めている。

小豆島の本島と前島を川のように隔てる土洩海峡は全長2・

5キで、町中心部にある最も狭いところは幅9・93メートル。ギネスブック掲載から20年を記念し、7月22日から1日1〜4便で運航を始めた。今月27日まで。

地元の同県土庄町が運航、土庄港から土洩海峡を通って瀬戸

香川県・小豆島の「土洩海峡」を航行する観光船「1白」、土庄町で

内海に出て、再び海峡を通過して同港に戻る。所要時間は約45分。潮が引くと砂の道が現れて沖合の島と陸続きになる観光名所「エンジェルロード」の近くも通る。全便が満席になる日も多い。海峡には複数の橋が架かっており、乗船した岡山県井原市の会社員は「橋の下から見上げてみると、狭さが際立ってよく分かった」と話した。

乗船は無料だが保険料300円がかかる。問い合わせは予約専用ダイヤル、電話090(1325)32886。